

情報公開文書

研究課題名	電気けいれん療法の多施設実績報告を用いた国内動向集計および発作誘発困難症例対策の検証に関する研究
研究体制	<input type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input checked="" type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 （責任研究機関：山梨大学）
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>精神神経医学講座</u> 氏名 <u>安田 和幸</u> 当 院 所属 <u>精神科</u> 氏名 <u>塚田 拓也</u>
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日
研究の概要	<p>（研究の意義・目的）</p> <p>本研究は電気けいれん療法を受けた患者さんたちがどのような精神疾患であったか、どのような手技で行われたか、電気けいれん療法の治療効果や安全性とそれに関わる可能性がある要素（精神疾患の診断や病態、内服薬剤、治療手技）、発作が誘発できずに治療困難となった場合の対処方法について調査し、日本国内から発表することを目的としています。これにより電気けいれん療法の治療効果を最大限に発揮して、できる限り安全な治療を多くの施設で実現することを目指しています。</p> <p>（研究方法）</p> <p>ECT 研修施設において電気けいれん療法を受けた患者さんの、診療録や ECT 実施のデータをまとめ、以下のことについて調査をしていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 施設全体や施設ごとの傾向（ECT の現状） 2) 治療効果や副作用の程度 3) 発作誘発困難症例に対する電極配置切り替え法の治療効果
試料・情報	<p>（試料・情報の項目）</p> <p>情報：性別、年齢、診断、標的症状、薬物使用歴、ECT 回数、電極配置、最終刺激用量、治療反応、有害事象、発作誘発困難例対応に関するデータなど</p> <p>試料：該当なし</p>
研究対象者	<p>2016 年 1 月から 2024 年 12 月の間に当院で電気けいれん療法(ECT:Electro Convulsive Therapy)を受けた方</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
外部への試料・情報の提供	<p>研究に用いる情報は、氏名や住所、生年月日などの個人情報削除し、代わりに研究用の番号を付与した上で、パスワードを設定した電子メールにより山梨大学医学部、京都大学医学部、関西医科大学医学部へ提供します。個人情報と研究用の番号を対応させるための表については提供せず、当院の研究責任者が保管・管理します。</p>

個人情報の保護	<p>研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。</p> <p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で使用いたします。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。</p>
利益相反について	<p>外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。</p> <p>本研究は、日本総合病院精神医学会 ECT 委員会の経費を用いて実施します。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。</p> <p>また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。</p> <p>〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>精神科</u> 氏名 <u>塚田 拓也</u></p> <p>TEL : 026-226-4131（代表） FAX : 026-228-8439</p>